

市の財政状況をお知らせします

— 令和5年度決算 —

図財政課財政係 ☎8634 (市役所4階)

市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金や地方交付税などが、どれくらい入り(歳入)、どのような事業にどれくらい使われたのか(歳出)など、市の財政状況についてお知らせします。

一般会計・特別会計

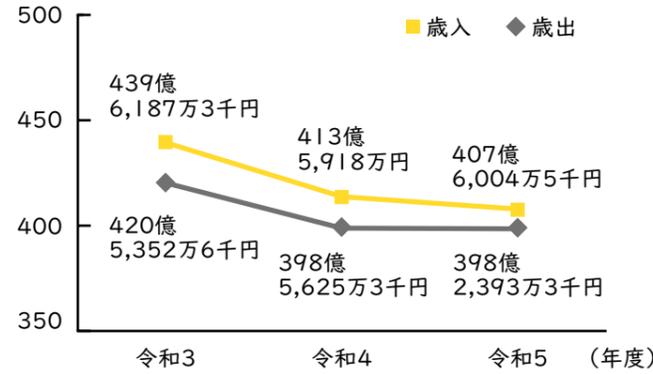
会計	歳入	歳出	
一般会計	407億6,004万5千円	398億2,393万3千円	
特別会計	国民健康保険	84億3,206万2千円	81億3,656万7千円
	後期高齢者医療	10億5,541万8千円	10億5,414万5千円
	介護保険	74億2,039万7千円	71億3,873万1千円
	診療所事業	1億2,915万2千円	1億2,915万2千円
	給水施設事業	1億6,289万1千円	1億6,287万1千円
	住宅新築資金等貸付事業	264万3千円	225万3千円
合計	579億6,260万8千円	564億4,765万2千円	

一般会計の内訳

歳入	決算額	構成比	説明	
自主財源	市税	81億5,402万9千円	20.0%	皆さんに納めていただいた市民税、固定資産税など
	繰入金	7億7,654万7千円	1.9%	基金からの繰入金など
	繰越金	8億292万7千円	2.0%	令和4年度から繰り越されたお金
	その他	23億5,594万1千円	5.7%	公共施設の使用料など
依存財源	地方交付税	124億2,177万2千円	30.5%	市町村が等しく事業を遂行できるよう、国から交付されるお金
	国庫支出金	68億8,337万2千円	16.9%	市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金
	市債	29億4,621万9千円	7.2%	市の借入金で償還が1年を超えて行われるもの
	その他	64億1,923万8千円	15.8%	県支出金や地方消費税交付金など
合計	407億6,004万5千円			

歳出	決算額	構成比	説明
総務費	44億8,432万7千円	11.3%	庁舎の管理、戸籍、税の収納、選挙など
民生費	140億4,844万7千円	35.3%	児童、高齢者、障がい者の福祉など
衛生費	34億4,384万6千円	8.6%	健康診断、予防接種、ごみ処理など
農林水産業費	20億1,204万4千円	5.1%	農林業の振興など
商工費	14億4,309万円	3.6%	商工業の振興など
土木費	27億1,050万3千円	6.8%	道路、公園などの整備・維持など
教育費	38億2,907万7千円	9.6%	学校教育、生涯教育、文化振興など
公債費	42億4,851万9千円	10.7%	市の借金返済
その他	36億408万円	9.0%	災害の復旧、就労支援、中小企業労働対策など
合計	398億2,393万3千円		

一般会計決算規模の推移



令和5年度の一般会計の歳入は407億6,004万5千円でした。

その内訳は、国や県に頼った依存財源が70.4%、市で賄う自主財源が29.6%となっています。

皆さんから納めていただいた市税は歳入総額の20.0%を占め、81億5,402万9千円となり、国からの地方交付税は、124億2,177万2千円と歳入全体の30.5%を占めています。

市税の収入状況

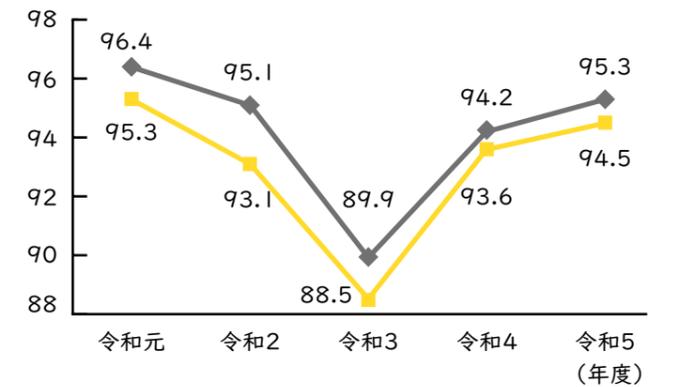
※市民1人当たりの額は、令和6年3月31日現在の人口60,542人で算出しています。

目別	予算現額	調定額	収入額	市民1人当たり
市民税	29億5,748万5千円	30億1,131万5千円	29億7,139万1千円	4万9,080円
固定資産税	37億9,609万円	40億2,759万4千円	39億2,970万7千円	6万4,909円
軽自動車税	2億7,725万9千円	2億7,890万2千円	2億7,295万5千円	4,509円
市たばこ税	4億9,493万4千円	5億331万円	5億331万円	8,313円
入湯税	3,252万6千円	3,238万1千円	3,238万1千円	535円
都市計画税	4億4,445万7千円	4億5,571万7千円	4億4,428万5千円	7,338円
合計	80億275万1千円	83億921万9千円	81億5,402万9千円	13万4,684円

経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、普通交付税など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられるかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

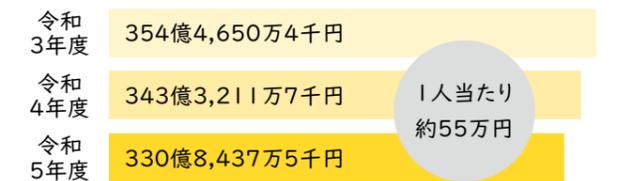
令和5年度は **94.5%** (令和4年度: 93.6%)



基金残高



地方債残高



【依存財源と自主財源】

依存財源とは、地方交付税などのように国や県等に頼った財源のことを言います。自主財源とは、市税や使用料・手数料などのように市が自主的に収入することができるもので、自主財源の割合が高ければ高いほど、その用途の決定において自主性が高いと言えます。